

2025年7月13日 礼拝

序)教会における立場の違いと誤解

- 教師と信徒、牧師と信徒の間には立場の違いが存在
- 兄弟団や無教会主義ではその区別を否定
- 教職制度を持つ教団では、役割に違いがある
- 問い:教師は特別な存在なのか？

I. 使徒たちの立場(1-2 節)

- 教師＝「キリストのしもべ」「神の奥義の管理者」
- 「しもべ」はガレー船の最下層で漕ぐ奴隷のイメージ
- 忠実さの対象は人ではなく【主】
- 教師は支配者ではなく、御言葉を託された者

II. 信徒への警告(3-7 節)

① さばいてはいけない(3-5 節)

- パウロは人のさばきを気にしない
- 真のさばき主は【主】(4 節)
- 「人の日」のさばきを取るに足りない
- 【主】は闇に隠れたことも明るみに出される(5 節)

② 思い上がってはいけない(6-7 節)

- 分裂の背景にあるのは思い上がり
- すべてのものは神様からの賜物
- 他者を見下すのは恩恵を忘れた行動
- ピリピ 2:3「互いに人を自分よりすぐれた者と思いなさい」

Ⅲ. 使徒と信徒の現状対比(8-13 節)

① 信徒の現状(8 節)

- 自分たちは「王のように」満ち足りた存在と勘違い
- パウロたちとの関係に無関心
- パウロの皮肉:「王様になっていたら…」

② パウロたちの現状(9-13 節)

- 「死罪に決まった者」「見せ物」扱い(9 節)
- 弱く、卑しめられた存在として歩んでいた(10 節)
- 飢え、渇き、迫害、労苦(11-13 節)
- それでも、祝福し、忍耐し、励ます姿勢

結論)【主】に忠実に歩む者として

- 教師と信徒は線を引くのではなく、【主】にある一つの宮
- 教師は【主】に忠実であることを求められ、信徒は裁かず、へりくだることが求められている
- 【主】の支えにより生かされている私たちは、見下すより、忍耐と励ましによって生きよう

★応答のとき

- あなたは誰かをさばいたり見下していないか？
- 【主】の前にへりくだり、一つの教会として歩んでいるか？
- 自分の立場をわきまえ、【主】の忠実なしもべとして歩もう